

NEXT ANSWER LIXIL 2019

株式会社LIXIL 集合住宅・非住宅向け展示会

「NEXT ANSWER LIXIL 2019 in OSAKA」のご案内

初秋の候 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、オフィス商業施設、ホテル、マンションなどこれからのパブリック空間について弊社からの新しいご提案をする内覧会「NEXT ANSWER→LIXIL2019」を開催させていただきます。

会場ではパブリック空間でご提案いただける多彩な商品をご覧ください。

皆様におかれましてはご多忙と存じますが、ぜひこの機会にご来場くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

2018.10.31 水 11.1 木

堂島リバーフォーラム

開催時間10:00~19:00

(最終受付18:00)

〒553-0003

大阪市福島区福島1-1-17

■交通アクセス

- ・JR東西線「新福島」、阪神本線「阪神福島」、京阪中之島線「中之島」各駅から徒歩約5分
- ・JR大阪環状線「福島」、市営地下鉄四つ橋線「肥後橋」各駅から徒歩約8分
- ・JR各線「大阪駅」徒歩約15分

当施設に駐車場はございません



1.コンセプト（空間）展示

Proposals of Spaces



ホテル



マンション



オフィス・商業施設

トレンド、市場のニーズに応じた空間、商品をご紹介します

2.プロダクト（商品・技術）展示

Products & Technologies

トイレ・洗面

浴室

キッチン

水栓

サッシ

玄関ドア

インテリア

エクステリア

タイル

パブリック向け商品の新商品、ラインナップ、機能をご紹介します

3.情報発信 Information Sources

多彩なコンテンツをご用意しております。

セミナー内容詳細、お申し込み方法については後日お知らせいたします。

特別セミナーのご案内

開催場所：堂島リバーフォーラム 4F ギャラリースペース

お申し込みは Web にて受付をさせていただきます。

お申し込みはコチラから ▶ http://www.biz-lixil.com/s/nal_osaka/

定員90名 各セミナーとも定員になり次第締め切らせていただきます。



日時	セミナーテーマ／セミナー内容	講師	講師プロフィール
10/31(水) 10:30～12:00	ミラノサローネ 2018 デザイントレンド報告 建築士会CPD申請中 ミラノのインテリアとキッチン・バスルームトレンドについてご紹介いたします。 1. 2018トレンド概要 2. CMF(色・素材・仕上)について 3. キッチン・バスルームについて 4. その他デザインイベントについて 5. トレンドからの商品開発について 6. LIXILのDesign Styleのご紹介	株式会社LIXIL 宮脇 伸歩 	1984年愛知県立芸術大学インダストリアルデザイン卒業後、伊奈製陶株式会社(現 株式会社 LIXIL)入社。内装タイル、商品カラーデザインを経て、住宅設備機器、シャワートイレ、SATISの開発に従事。技術統括部空間デザイン研究所所長兼デザインセンター長、総合技術研究所サステナブルデザイン研究室室長、キッチン・洗面事業部商品企画課長を経て、2014年より現職。 愛知県立芸術大学非常勤講師。 LIXIL Housing Technology Japan デザインセンター デザイン開発グループ グループリーダー
10/31(水) 14:00～15:30	災害配慮トイレセミナー 建築士会CPD申請中 不可避の大地震。発災後、「食糧」や「水」の確保とともに発生するのが「屎尿処理」の問題。厳しい避難所生活の中でも安全、安心、健康的に過ごせるように、避難所トイレに対する重要性はますます高まります。そこで、避難所トイレのあるべき姿についてトイレメーカーの立場から考えます。 1. 災害時トイレを取り巻く状況 2. LIXILが考える災害時トイレ 3. 災害に対するトイレの総合的な備えについて	株式会社LIXIL 異相 一義 	1987年株式会社 INAX(現 株式会社 LIXIL)に入社。大便器、小便器、洗面器など衛生陶器の企画、開発に携わり、その後、渉外業務に従事。2015年からは災害時トイレの研究・開発を中心としたトイレの開発業務に従事。 LIXIL Water Technology Japan トイレ・洗面事業部 衛陶開発部 洗面・小便器開発グループ チームリーダー
11/1(木) 10:30～12:00	現代世界建築の今を探る 建築士会CPD申請中 — View on Contemporary World Architecture Now — 世界のトップ・アーキテクトが繰り出すユニークな建築は如何様にして生まれるのか。 雑誌やネット上で騒がれる彼らの建築デザインにはどのような秘訣があるのか。 種々の建築タイポロジーを例に検証したい。	建築ジャーナリスト 淵上 正幸 	東京外国語大学フランス語学科卒業。海外建築家や海外建築機関などとの密接な情報交換により、海外建築関係の雑誌や書籍の企画・編集・出版をはじめ、イベント、建築家のコーディネート、海外取材、海外建築ツアーの講師など多数を手掛ける。2018年日本建築学会文化賞受賞。主な著書に、『世界の建築家 51 人—思想と作品』(彰国社)、『ヨーロッパ建築案内』、『もっと知りたい建築家』、『アメリカ建築案内』、『世界の建築家 51 人—コンセプトと作品』(ADP)、『建築家を目指して』(日刊建設通信新聞社)、『アーキテクト・スケッチ・ワークス』(グラフィック社)など。
11/1(木) 14:00～15:30	生理的欲求からデザインする オフィスコミュニケーション — オフィスキッチンの可能性とオフィストイレの新しいかたち — 働き方改革やICTの進歩で目まぐるしく変化するオフィスにおいて、飲食や排泄といった生理現象がもたらすコミュニケーションの新しいかたちを考えます。 1. オフィスキッチンの必要性 2. キッチン配置のタイポロジーと施工事例 3. キッチンの機能とサイズの与件 4. オフィストイレの新しいかたち	株式会社オープン・エー 馬場 正尊 	1968年佐賀県生まれ。早稲田大学 大学院卒。博報堂に入社後、同大学大学院博士課程に復学し、雑誌「A」編集長などを経て、2003年「オープン・エー」を設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。また、同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。
		consulting & more / コクヨ株式会社 若原 強 	2001年東京大学大学院 工学系研究科修了。コクヨ株式会社 ワークスタイル研究所 所長。コクヨ中途入社前からの様々なキャリアで培った「ビジネス×クリエイティブ×テクノロジー」という強みの組合せにて幅広く活動。コクヨとの複業として営む個人コンサル業 consulting & more 代表。TV・新聞・WEB・講演等での露出多数。
		株式会社LIXIL 石原 雄太 	1996年日本大学工学部建築学科卒業後、住宅メーカー入社。後、インテリアメーカーにてインテリア販売を経験し、2005年株式会社 INAX(現 株式会社 LIXIL)入社。2007年より現職にてマンションやホテルの水まわり、パブリックトイレの空間提案に従事。 LIXIL Water Technology Japan 営業本部 営業企画統括部 野市場市場戦略部 スペースプランニンググループ チームリーダー